

宮崎県 J F 共済推進本部 本部長 矢部 廣一



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃より J F 共済事業へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。新春を迎えるにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、第6波、第7波の新型コロナウイルス感染症および1月の日向灘沖地震、9月の台風14号等の相次ぐ自然災害により被害に遭われた漁業関係者および地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、去年は長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で国内での需要の冷え込みによる漁価の低迷、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等の影響により、JF 共済の事業基盤であります漁業・漁村を取り巻く環境は以前にも増し厳しい状況になりますことは皆様ご承知のとおりです。

そのようななか、JF 共済では、「浜の安心を未来へ～ひろげよう共済の輪～JF 共済3か年計画」の最終年度として、課題である「保有契約量の減少傾向に歯止めをかけるための取組み」を着実に実践し、J F 共済事業の健全性・信頼性の強化に取り組んでいるところでございます。

推進本部といたしましては、3か年計画における「生命・建物の保障を組合員・世帯構成員・地域住民に幅広く提供し、J F 共済の輪の拡大を図って行く。」ことに重点的に取組み、J F 組合員等1人ひとりに満足・納得のいく保障を提供するため、漁協役職員はもとより、女性部・青壮年部等のご協力を賜り、各共済種目の目標達成をめざして、積極的な普及推進活動を展開しているところでございます。

このような中、基幹種目の一つであります「くらし」につきましては、昨年度に引続き積極的な推進活動、保障額の見直しにより、順調に年度目標達成に近づいております。「チョコー」につきましては、「新医療共済『匠』」や女性特約の「りぼん」等に加えて介護共済「あしすと」、三大疾病保障付介護共済「あしすとぷらす」の周知徹底を図るべく推進活動を展開しており、第4四半期での成果を期待するところです。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、全戸訪問を通じた保障の案内、見直しを提案する「浜のあんしんサポート運動」を積極的に展開していくことで J F および各系統団体と一体となって事業量目標の達成に向けた活動に取り組んでまいります。

私たち J F 共済は、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民の「暮らしの保障」に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある地域づくりに貢献してまいりたいと考えておりますので、どうか本年も、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と操業の安全及び大漁をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。